

日刊建設通信新聞（2019年7月26日付3面掲載）

【オリコンサルグローバル マニラ首都圏地下鉄でJVオフィス開所】



マニラ首都圏地下鉄
でJVオフィス開所
オリコンサルグローバル
オリエンタルコンサルタン
ツグローバルは18日、フィリ
ピンのマニラ首都圏で「フィ

テープカットするオリエンタルコ
ンサルタンツグローバルの森本裕
三副社長（左から2人目）ら関係者

リピン国マニラ首都圏地下鉄
事業」プロジェクト事務所の
開所式を行った。日比両国か
ら約200人が参加し、プロ
ジェクト関係者間の連携を確
認するとともに事業の円滑な
進捗を誓った。

同事業は、人口増加に伴い
交通渋滞が深刻化しているマ
ニラ首都圏における大規模公
共交通網の南北軸として、北
部ケソン市と南部パラニャケ
市を結ぶ同国初の地下鉄を整
備する。地下15駅で延長は約
31・4キロ。概算総事業費は1
兆1000億円。事業に対す
る円借款には本邦技術活用条
件（STEP）が適用され、
地下トンネル掘削、狭あいな
部分での施工、耐震設計、信
号システム、車両などに日本
の技術が活用される。

オリエンタルコンサルタン
ツグローバルは、日本企業6
社からなる「OC Global
all-JV」の代表企業で、
2018年11月に同国運輸省
から事業の入札支援、施工管
理などのコンサルタント業務
を約260億円で受注。今回
設置したプロジェクト事務所
は同JVが使用するプロジェ
クト用のオフィスとなる。

工事は3駅と車両基地を建
設する先行工区を清水建設、
フジタ、竹中土木と地元会社
によるJVが施工し、22年の
供用開始を目指す。残り工区
（12駅）は25年の供用開始を
予定している。